A 試合会場レポート

試合番号 **148** 開催日 **2018/12/01**

2018-19 V.LEAGUE DIVISION1 MEN レギュラーラウンド

会場： **駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場**

観客数:1480	開始時刻:13:00	終了時刻:14:50	試合時間:1:50	主審:高橋　宏明	副審:森口　豊

FC東京

監督　：ロディ　アレッサンドロ
コーチ　：坂本　将康

通算　：3 勝 7 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ　：9

サントリーサンバーズ

監督　：　荻野　正二
コーチ　：　酒井　大祐

通算　：　9 勝 1 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ　：　26

1	17	第1セット【0:22】	25	3
	25	第2セット【0:26】	18	
	21	第3セット【0:24】	25	
	22	第4セット【0:29】	25	
		第5セット【】		

ﾎﾟｲﾝﾄ　【 】内はセット時間　ﾎﾟｲﾝﾄ
0　（）内は交代選手　3

<監督コメント>

本日の戦いは、これまでの試合の中で一番良かったと思います。サントリーに対して、どのセットも厳しい状況ではあったが、ムセルスキーをはじめ良く戦ったと思います。

本日は、沢山の応援ありがとうございました。明日も応援よろしくお願いします。

第1セット

17						25
	栗山(玉宅)	手塚(野瀬)		栗山(喜入)	大宅	
	山田(要)(佐藤)	長友		鈴木(秦)	塩田	
	ﾃﾞﾛｯｺ	小田嶋		ﾑｾﾙｽｷｰ(小川)	藤中(謙)	

リベロ: 橘　リベロ: 鶴田

第2セット

25						18
	山田(要)(佐藤)	栗山(玉宅)		栗山(喜入)	大宅	
	ﾃﾞﾛｯｺ	手塚(野瀬)		鈴木(米山)	塩田	
	小田嶋	長友		ﾑｾﾙｽｷｰ	藤中(謙)	

リベロ: 橘　リベロ: 鶴田

第3セット

21						25
	栗山(玉宅)	手塚(野瀬)		藤中(謙)	ﾑｾﾙｽｷｰ	
	山田(要)(佐藤)	長友		塩田(星谷)	鈴木	
	ﾃﾞﾛｯｺ	小田嶋		大宅(小川)	栗山	

リベロ: 橘　リベロ: 鶴田

第4セット

22						25
	山田(要)	栗山(玉宅)		栗山(喜入)	大宅	
	ﾃﾞﾛｯｺ	手塚(野瀬)		鈴木	小野	
	小田嶋	長友(佐藤)		ﾑｾﾙｽｷｰ	藤中(謙)	

リベロ: 橘　リベロ: 鶴田

第5セット

リベロ:　リベロ:

<監督コメント>

スタートは良かったが、第２セットにFC東京の技のあるプレーや、勢いにチームが引いてしまった。

第３セットからは、控えの選手の活躍もあり落ち着いてプレーをすることができた。

明日も、しっかりと戦いたいと思います。

本日は、応援ありがとうございます。

<要約レポート>

第１レグを８勝１敗のサントリーサンバーズと、第２レグをホームゲームでスタートし巻き返しをしたいFC東京との一戦。

第１セットの序盤はFC東京の長友と、サントリーのムセルスキーが、互いに点を取り合うことから始まった。中盤サントリー栗山、鈴木のスパイクがことごとくFC東京のコートに決まる。FC東京も負けじとデロッコが反撃するも、サントリー大宅の効果的なサービスエースが決まると、これに続けとばかりにムセルスキー、栗山のスパイクが炸裂しセットを先取した。

第２セット、FC東京・手塚のスパイクやサービスエースが決まり、さらにデロッコのブロック、長友のスパイクでリードする。サントリーはムセルスキーのスパイクで活路を見出そうとするが、FC東京・長友がブロックを決め、第２セットを奪い返す。

第３セット、中盤まで一進一退の攻防が続いたが、サントリームのムセルスキー、鈴木のスパイクが決まる。さらに、サントリーの大宅の巧みなトス回しで鈴木、星谷の速攻がきまり、第３セットを取った。

第４セット、サントリー藤中のスパイクで点を重ねると、FC東京・長友もスパイクで点を重ねる一進一退であったが、サントリー栗山のバックアタックから流れがサントリーに傾く。さらにムセルスキーのブロック、藤中のスパイクが決まる。FC東京も手塚、デロッコのスパイクで追いすがるが、サントリー小野のブロックで阻止し、セットカウント３－１でサントリーが勝利した。

作成者 ： 金廣　美喜夫

※本票の著作権は一般社団法人ジャパンバレーボールリーグに帰属します。